

宮古地域コンブ乾燥施設での作業効率化試験を実施しています

海藻類養殖の効率化を図り、生産性を向上させる目的の一つとして、コンブ乾燥の工程における労働時間の短縮及び燃油等コスト軽減のための省力化・省エネ化について検討しています。

コンブ乾燥については、これまで各漁家の施設で様々な方法により行われてきたところですが、乾燥作業の時間が長いことや乾燥機で消費する燃油の量が多いこと、コンブに乾燥ムラが生じることなどが課題となっていました。

また、平成 23 年の東日本大震災津波により多くの漁家がコンブ乾燥施設を失ったことから、平成 24 年度に漁業協同組合が新設の共同利用のコンブ乾燥施設を各地区に整備しています。

そこで、今年度はこの乾燥施設を対象として、乾燥中の燃油や電力消費量、温湿度等を計測するための機器類を乾燥機や乾燥室内に設置して経時的にデータを取得するとともに、機器や施設の具体的な運用についても生産者から直接聞き取りを行い、効率的に運用するための検討に用いるデータを収集しています。

今後、機器の配置や運用方法を示した乾燥施設効率化マニュアルを作成し、生産者に提案していきます。

1 研究期間

平成 24～28 年度

2 調査場所

宮古地域漁業協同組合共同利用コンブ乾燥施設

3 調査時期

コンブ乾燥作業期間中（6月下旬～8月上旬）

4 計測項目

乾燥機燃油流量 (ℓ/h)、電力消費 (kW)、乾燥機吸気温度 (°C)、乾燥機排気温度 (°C)
乾燥室温度 (°C)、乾燥室湿度 (%)



共同コンブ乾燥施設の乾燥室内部



間熱式乾燥機と計測機器類